

## 国・県事業の促進

### 国への働きかけ

- 津松阪港区域の海岸堤防整備(栗真町屋工区の本体工事促進、阿漕浦・御殿場工区の三重とわか国体の競技開催を見据えた工事完了、新たに直轄事業となった栗真工区の詳細設計)
- 中勢バイパスの早期全線供用に向けた整備促進、交差点の立体化や4車線化による渋滞対策
- 雲出古川左岸の高潮堤防工事など雲出川水系河川整備計画に基づく早期整備と予算確保
- 介護職員や保育士の人材確保に向けた処遇改善への支援

### 県への働きかけ

- 上野地区海岸堤防・白塚漁港海岸堤防の整備促進
- 志登茂川、三泗川、安濃川、岩田川、相川の河川改修事業の促進
- 一志美杉線の室ノ口バイパス・室ノ口から矢頭トンネル、国道163号の片田バイパス、亀山安濃線の高野尾バイパス、国道368号の下太郎生・奥立川工区などの道路整備



- 香良洲橋の架け替え
- 横断歩道等交通規制標示などの修繕および通学路における交通安全対策

## 国の大きな制度改正への対応

### 森林経営管理法(4月施行)

森林環境譲与税を活用し、森林の的確な整備・管理を行い、未整備森林の解消を図るとともに、土砂災害防止など森林の持つ多面的機能をさらに向上させるため、津市の森林環境政策として、芸濃地域の森林から取り組みを始める。

### 幼児教育・保育の無償化(10月開始)

無償化に伴い急激かつ大きく変化するニーズに迅速に対応するとともに、認可外施設における保育の質の確保・向上などの課題に対し、引き続き地方の声を国へ届けながら、無償化に伴うさまざまな可能性を想定した準備を進める。

基礎自治体に大きく影響を及ぼす国の制度改正にも遅れをとることなく、津市の将来を見据え、迅速かつ着実に対応していきます。

## 新しい時代へつなぐ予算

平成31年度の予算は、平成の時代から新しい時代への第一歩を踏み出す節目の年であり、「新しい時代へつなぐ予算」としました。

市長選挙を控えていることから、これまで手掛けてきた事業や既に方針を明らかにした事業を着実に推し進めることで、合併後に作り上げてきたまちづくりを停滞させることなく力強く進め、**新しい時代へ市民の願いをつないでいく予算**として編成しています。

一般会計当初予算額は、前年度比43億9,000万円増の1,146億5,000万円としました。増額となった主な要因は、建設工事が最終年度となる久居アルスプラザの整備事業費の増、また、毎年増え続けている扶助費や児童扶養手当の制度改正に伴う臨時的な対応などによるものです。

### 編成のポイント

#### 【歳入】

市税は前年度比2%増の409億円、地方交付税は、地方財政計画を踏まえつつ、普通交付税の算定替における特例措置の段階的な縮減などを考慮し、前年度同額の180億円、市債は、臨時財政対策債を除き、前年度比60.1%増の101億円を見込んでいます。

#### 【歳出】

普通建設事業費は、前年度比25.8%増の161億3,000万円、扶助費は、障害者総合支援法関係事業や児童扶養手当給付事業の給付回数の変更による臨時的な増などの影響により、前年度比3.4%増の243億2,000万円、物件費は前年度比4.3%増の202億1,000万円を計上しました。

## 津市の明るい未来を築いていくために

新しい時代への第一歩として、未来を担う子どもたちの**明るい未来**が展望でき、若者が**夢を描く**ことができ、そして、市民の皆さまの**幸せな暮らし**が広がるまちの実現に向けて、さらに力強い歩みを重ねていかなければなりません。

津市の明るい未来を築いていくために、市役所一丸となって、志高く一つ一つの施策に丁寧に取り組み、市民の皆さまが県都津市としての存在感を感じ、津市への期待感をもっていただける市政を進めていきます。